

BUNGAKUZA TSUSHIN 2026.7 Vol.803

文学座通信

●みんなのアトリエ

座談会 | 文学座こどもげきという居場所 … 1~3

鈴木亜希子×高柳絢子×相川春樹×御守未来×沼田利生

●文学座有志による自主企画公演……………4

●「夏」の演劇ワークショップ……………5

●鼎談 | 文学座ワークショップの可能性 …… 6~7

西川信廣×植田真介×趙 美栄

●アトリエ短信……………8

みんなのアトリエ

| 座談会 | 文学座こどもげきという居場所

7月18日(土)~21日(火) 信濃町 文学座アトリエ



演技部 鈴木亜希子

★こどもげきのはじまり
沼田 文学座の「こどもげき」が始まってどれくらい経ちますか。

進行
企画事業部
沼田利生

鈴木 東日本大震災の翌年からので、十五年目。震災は非常にショックで、漠然と人とのつながりが大事だと感じて、演劇でそれをつくれなかつたかと思つたんです。なので、演劇が好きなお客様向けというより、地域の方々が低価格のチケットで気軽に文学座を思い出してもらえる企画がいいなと思つて「なつやすみこどもフェスティバル」を始めました。

沼田 亜希子さんが中心になつて。

鈴木 はい。当時、地方公演に出ているんですが、旅先で泣きながら熱く先輩たちに語りまして(笑)。その場にはた上川路(啓志)さんや頼経(明子)さんたちが賛同してくださつたんです。

高柳 亜希子さんが顧客担当委員会にいて、委員会として子ども向けの取り組みをやるうと発案したんですよ。そこから「こどもげき委員会」として独立したように覚えていきます。

沼田 当初の「地域」というのは、信濃町

鈴木 そうですね。ただ、子どもは百



演技部 高柳絢子

円で見られるので、口コミですごく広がつて、二〇一八年には四日間であつた者が千人を超えたんです。でも、コロナでちよつと途切れちゃいましたね。

高柳 コロナが落ち着いて最初にやつた時は「あ、知らないお子さんと親御さんがいる」つて、一世代新規のお客様に変つた感覚がありました。

沼田 高柳さんが関わるようになった経緯を伺えますか。

高柳 二〇一二年は『泣いた赤おに』をやつていて、私が準座員だつた二〇一三年は『三びきのこぶた』でした。それで座内一斉メールに「手伝える方をお願いします。交通費程度しか出せませんが」と回つてきたんです。私は短大が幼児教育学科だつたので、そういうことに関わればいいなと思つていて。「俳優でも裏方でも誰でもOK」と言つてもらえたので参加しました。相川君は私の一期下なんですけど……。

相川 僕は、二〇一五年の『さるかに合戦』が初参戦です。

高柳 さんが子がに役で、僕はその宿敵の悪いさる役(笑)。

高柳 親がには中村彰男さん(笑)。

相川 当時は準座員で、芝居に出る機会が少なくて、とにかく芝居がやりたいかつた。『さるかに合戦』からこどもげきに参加するようになつて、こどもげき委員会にも入部し



演技部 相川春樹

て、いつのまにか十年経つていました。最初から続けようと思ひ込んでいたわけではなかつたけれど、楽しくてつい続けてきてしまつた、という感じですよ(笑)。

鈴木 御守さんは大学在学中、それこそコロナ禍の只中に絵を描きに來てくれたんですよ。美術家つながりで御守 本科に入る前に「ジャックと豆の木」を手伝わせていただきました。

元々文学座を受けようかと思つていたところに「雰囲気もわかるよ」とお誘ひいただいたんです。

鈴木 今や超重要な戦力なので、絶対に離しません(笑)。

★独自の創造環境とチームの形

沼田 こどもげきはどんな場所ですか。

高柳 自主企画に近い部分もあつて、票券も小道具も全部自分たちでやる。俳優が多いですが、乗峯(雅寛)さん、阪口(美和)さんは当初から今日までプランナーで関わつてくださつて、西川(信廣)さんや鶴山(仁)さんも覗きに來ては意見を言つてくれた。

鈴木 いろんな人が出入りしてましたよね。演出家を立てない年もあつて、俳優が自立しないとダメだと思つてました。どうすれば子どもたちに



演出部 御守未来

アトリエ短信

■ 成女高等学校×文学座

産学連携協定締結のお知らせ

成女高等学校と文学座は産学連携協定を締結しました。本連携においては、文学座が演劇を通して培ってきたノウハウを、成女高等学校の生徒の非認知能力を高める教育に展開していきます。

その第一歩として、2026年度は自己表現力を育む授業「表現プログラム」のボイスクラスで、生田みゆき(演出部)と添田園子(演技部)が通年で授業を実施します。演劇を通じて、声に備わっている力を伸ばし、発声だけでなく、自分の考えが伝わりやすい話し方や、状況に相応しい態度(身体性)も身につけていきます。

また、高校生が演劇の世界や技術に触れることで、演劇文化が若い世代にも広がり、演者やスタッフへの関心や理解が高まることも期待されます。

■ 寄付のご報告

文学座にご寄付いただいた皆様に御礼申し上げます。感謝の意を込めて、ご芳名を掲載いたします。

朝日信用金庫様 PlanZ 門谷聡様
荒井伸江様 飯島麻子様
石井一子様 宇山美和子様
加藤リツ子様 木下文子様
轡田麻衣子様 栗原亜衣様
新藤智美様 スズキユミコ様
原田和代様 松井尚子様
松測秀美様 村田豊樹・洋子様
渡辺知子様 匿名希望 4名様
(2025年8月号掲載以降/50音順)

こまつ座『マンザナ、わが町』

作=井上ひさし 演出=鶴山仁

主催=こまつ座
協力=文学座

「1942年、カリフォルニア州マンザナ収容所に強制収容された日系アメリカ人の女性たち。その収容所で、なんと『マンザナ、わが町』という芝居を作るといふ、奇想天外なお話です。文学座から出演の三人のお嬢様方、これまた奇想天外な面々で……。是非ご覧ください」

(鶴山仁)

■ 出演

栗田桃子、増岡裕子、sara (以上文学座)
福井由峰、真飛 聖

■ 7月10日(金)～23日(木)

※ 13, 20日は休演

■ 紀伊國屋サザンシアター TAKASHIMAYA

■ チケット料金 (全席指定・消費税込)

一般 9,500円
U-30 (30歳以下) 7,000円
高校生以下 3,000円 (こまつ座のみ扱い)

前売好評発売中

文学座支持会、
パートナーズ倶楽部会員様の
特別値引があります。詳細は
文学座 TEL 03-3351-7265



■ お申し込み・お問い合わせ

こまつ座 TEL 03-3862-5941



出演情報

◎追加情報は文学座HPにて

★宝意紗友莉:『ハリー・ポッターと呪いの子』(J.K.ローリングオリジナルストーリー、ジャック・ソーン オリジナルストーリー・脚本、小田島恒志・小田島則子 訳、ジョン・ティファニー オリジナルストーリー・演出) 7/2～12月末 TBS 赤坂ACTシアター

★小野洋子:『聖なる炎』(サマセット・モーム作、小田島創志 訳、小笠原響 演出) 7/1 たましんRISURUホール〔立川市市民会館〕、7/2～8/12 全国演鑑連(関越、中部・北陸、静岡)

★清水明彦:『マクロプロスの処方箋』(カレル・チャペック作、阿部賢一 訳、倉田淳 演出) 7/2～12 ウェストエンドスタジオ(西武新宿線「新井薬師前駅」より徒歩7分)

★小林勝也:『路上8 ミッション・ポツシブル』(川村毅作・演出) 7/3～12 雑遊(新宿三丁目)

★村上佳:『成瀬は天下を取りに行く』(宮島未奈 原作『成瀬は天下を取りに行く』新潮社刊)、G2 脚本・

演出) 7/4～12 サンシャイン劇場、7/16～26 南座(京都)、7/28・29 大津市民会館(滋賀)

★鹿野真央:20の物語一週末を、劇場で『水のほとりの女』(田中澄江作、小林七緒 演出) 7/16・19 新国立劇場(初台)

★川辺邦弘:20の物語一週末を、劇場で『ストロンガー』(ヨハン・アウグスト・ストリンドベリ作、一川華 訳、万里紗 演出) / 『トライフルズ』(スーザン・グラスペル作、浦辺千鶴 訳、万里紗 演出) 7/18・19 新国立劇場 ※二本立て公演。川辺は『トライフルズ』に出演。

★渡邊真砂珠:20の物語一週末を、劇場でリーディング『ナディア』(アルフィアン・サアット作、一川華 訳、小山ゆうな 演出) 7/31・8/2 新国立劇場

★川合耀祐:『たけとりKAGUYA』(佃典彦 脚本・演出) 7/18～24 可児市文化創造センター ala(岐阜)

★沢田冬樹:『いつかの、どこかの、だれ

か、』(たはらひろや作・演出) 7/23～26 萬劇場(大塚)

★神野崇:『TOKYO SLUM』(中津留章仁 作・演出) 7/30～8/9 上野ストアハウス

★沢田冬樹:朗読劇『私の下町一母の写真』(福田善之 原作、矢代朝子 朗読台本作成、大西一郎 演出) 7/31・8/1 日本橋社会教育会館

★松岡依都美、鈴木結里:『月を抱く人魚 一雨月物語より』(上田秋成 原作、鈴木アツト 脚本、生田みゆき 演出) 8/7～23 シアータートラム(三軒茶屋)

★平体まひろ:『夢去りて、オルフェ』(清水邦夫 作、大河内直子 演出) 8/21～30 東京芸術劇場シアターウエスト(池袋)

★清水明彦、高橋ひろし、頼経明子、越塚学、成田次郎:音楽劇『RATS 猫も食わないから騒ぎ』(小川未玲 脚本、西川信廣 演出) 8/22・23 長岡リリックホール シアター(新潟)